

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業	動物譲渡の推進		事業実施主体	市
	事務事業	動物愛護センター整備等事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 動物の愛護及び管理に関する法律が改正、平成25年9月から施行され、都道府県や中核市等は引き取った犬や猫について、殺処分がなくなることを目指し、所有者等への返還や譲渡を行うよう努力義務が規定された。全国と比較して殺処分が多い本市の現状を踏まえ、動物愛護思想の一層の啓発や動物愛護センター等の整備など、殺処分数の減少に向けた取組を行い、人と動物が共生できるまちづくりを目指す。

3年度概要
 ウェブサイト保守
 動物愛護センター運営管理

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	------	----------	----	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	動物愛護思想の普及啓発を行い、保健所における殺処分数を減少させる

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
返還・譲渡数	頭	274	346	335	246	246

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	殺処分数	%	目標値	82	81	67	65	64
			実績値	70	59	64		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標値に対して、返還・譲渡数と殺処分数は達成できた。さぬき動物愛護センターも開所し、今後とも、動物愛護思想の一層の啓発に努め、殺処分数の減少に取り組む。 (目標達成度)			(達成度)	104.5%	35点		
成果指標	動物愛護センター整備進捗率	%	目標値	30	50	100		100
			実績値	25	50	100		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 県と共同で整備を進めてきたさぬき動物愛護センターについては工事が完了し、平成31年3月に開所となった。今後は、県と市が共同で運営していく。 (目標達成度)			(達成度)	100.0%	35点		

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[千円]	53,552	67,567	323,027	73,656
(事業費)	[千円]	19,793	34,943	290,510	41,139
(職員人件費)	[千円]	33,759	32,624	32,517	32,517

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

さぬき動物愛護センターの整備が完了し、3月に無事開所となった。今後、センター運営について県と共同で実施していくこととなり、県と定期的な協議を重ね、動物愛護管理事業のより一層の推進を目指す。また、一時保管施設の整備については今後も継続して進めていく。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

犬や猫の殺処分数の減少に向け、動物愛護思想の普及啓発や返還・譲渡を推進するとともに、動物愛護センター等の整備や運営の円滑な推進に努める。